



2022年度 活動トピックス

「こころ彩るところ」 フジフィルム スクエア 2023

—— 「若手写真家」をサポートする活動や、作品の世界観を「体感する」写真展など、——
新しい“彩り”を取り入れた写真展を開催した1年

2022年度 活動トピックス

写真展の開催本数86本、ご来館者数約31万人

「FUJIFILM SQUARE(フジフィルム スクエア)」は、写真文化の発展に創業以来貢献してきた富士フィルムが、写真が持つ価値を伝える活動の一環として2007年に開館した複合型ショールームです。2022年度は、新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら、1年間で86本の写真展を開催しました。時代を超えて普遍的な価値を持つ名作をはじめ、現代を生きる作家の思いを伝える作品、新たな時代を担う若手写真家のみずみずしい感性あふれる作品など、さまざまな作品をご紹介します、約31万人の幅広い層の皆様にご来館いただきました。

未来を担う若手写真家が発表する写真展を開催

富士フィルムは、1957年にフジフィルム スクエアの前身となる富士フォトサロンを開館して以来、プロ、アマチュアを問わず優れた作品を発表する場を提供してきました。その後、多くの写真家の皆さまから「若い時に富士フォトサロンで写真展を開催したことが、その後の作家活動の土台となった」という声をいただいています。

そして、2013年には、若手写真家応援プロジェクトとして、写真展を開催するためのプリント制作費などを支援する「写真家たちの新しい物語」を立ち上げました。2022年度の4回を含め、これまでに合計36名の若手写真家による写真展を開催してきました。

さらに、2022年度には若手写真家応援プロジェクトの新部門として「ポートフォリオレビュー^{*1}/アワード」を開催しました。45歳以下の写真家・写真家を志す方から作品を募集し、プロ写真家が作品に対してアドバイスを行い、優秀な作品には写真展開催の機会を提供するという企画です。今回、定員を大きく上回る応募をいただき、レビュワー^{*2}4名による事前審査、レビュー、ファイナリストレビューを経て決定したアワード受賞者4名による「原石が輝く」写真展を開催しました。

*1.作品講評会(以下レビュー) *2.講評する講師

作品の世界観を「体感する」写真展を開催

2022年度は、日ごろ写真作品に触れる機会が少ない方々も含む、多様な方々に楽しんでいただける写真展を開催しました。例えば、写真と文章を見ながら、さまざまなものを探す絵本『ミッケ!』をテーマとした写真展では、幅3mを超える銀写真プリントを展示。お子さま連れのご家族や、幼少期に『ミッケ!』に親しんだ大勢の若い世代に作品世界に没入したような体験をしていただきました。また、「リラクゼーション」をテーマとし、写真展会場に森の中でのキャンプをイメージした空間を再現することで、視覚に加え、音や香りを用いた“体感型”写真展「まったり夜キャンプ」も開催。若者を中心とする方々から「五感で楽しんだ」という感想が多く寄せられました。

この『2022年度活動トピックス』では、フジフィルム スクエアで2022年度に実施した活動をダイジェストでご紹介いたします。フジフィルム スクエアの「こころ彩る」活動をご理解いただく機会となれば幸いです。

フジフィルム スクエア施設コンセプト



どの写真からも「生きる力」を感じた

「写真の力」に心を揺さぶられた

胸が熱くなり、涙がこぼれた

丁寧に仕上げられたプリントの美しさに感動した

お客様からいただいた「こころ彩った」声

いつ来ても、いつも新たな発見がある

写真を残すことの素晴らしさを再認識した

さまざまな視点で写真のことを理解できた

・本データは2022年度の自社調査に基づくものです。
 ・2022年度とは2022年4月1日から2023年3月31日を指します。年末年始を除いた359日が2022年度の写真展開催期間です。

来館者数 年末年始を除く
稼働日数359日の来館者

313,566人

1日平均
873人

写真展の開催回数

86本



■当社が主催・共催・協賛する企画展 38本

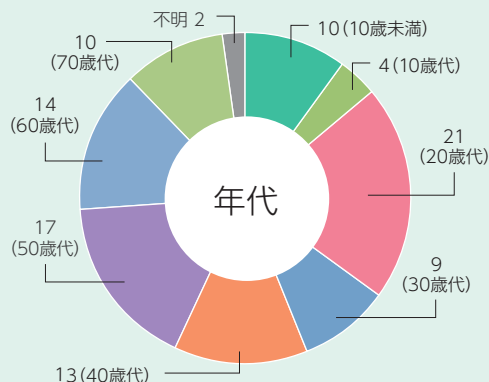
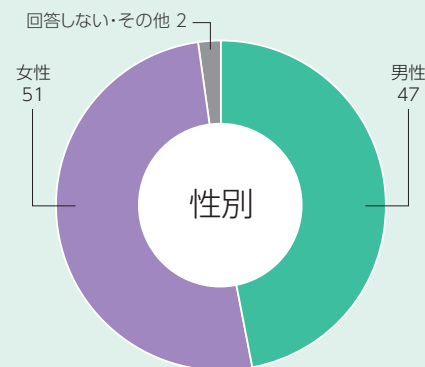
若手写真家から作品を募集し、作品発表の機会を提供する企画展「写真家たちの新しい物語」4本、歴史的に価値の高い作品を展示する写真歴史博物館の企画写真展4本、当社が主催・共催・協賛する写真展30本を開催。

■公募展 48本



〈企画展のDM・パンフレット例〉

来館者属性



※自社アンケート調査による。(回答人数10,724人、グラフの単位は%)

Web公開動画

フジフィルム スクエア Webサイトで公開した動画本数。

34本

総再生回数

68,403回

※2023年6月30日現在。
広告による再生は含まない。

Web公開インタビュー記事

フジフィルム スクエア
Webサイトで公開した
インタビュー記事本数。

2本

Webマガジン公開コラム

フジフィルム スクエアや
写真について気軽に
読んでいただくコラム

35本

若手写真家応援プロジェクト①「写真家たちの新しい物語」

45歳以下の写真家・写真家を志す方から作品を募集し、審査を通過した作品に対し、写真展を開催するためのプリント制作費等を支援する「写真家たちの新しい物語」を4回開催。準備段階から若手写真家に寄り添い、最高の写真展となるようサポートさせていただきました。

上出俊作写真展「陽だまり レンズ越しに見つめた10mmの海」



サコッチェ写真展「ジワリズム」



誰でも写真が撮れて、発表できるようになった時代だからこそ、この作品を、この場所で発表できることに意味があると信じている。

『撮影を続けてきてよかった』と思う。

サコッチェ氏の声



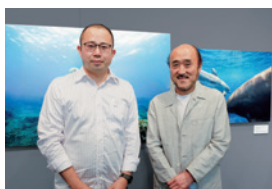
富士フィルムフォトサロンという歴史ある場所です。写真展を開催したことで、業界の方々から『写真家』として認められてきたような感覚がある。

上出俊作氏の声

若手写真家応援プロジェクト②「ポートフォリオレビュー*1/アワード」

新部門

*1 作品講評会(以下レビュー)

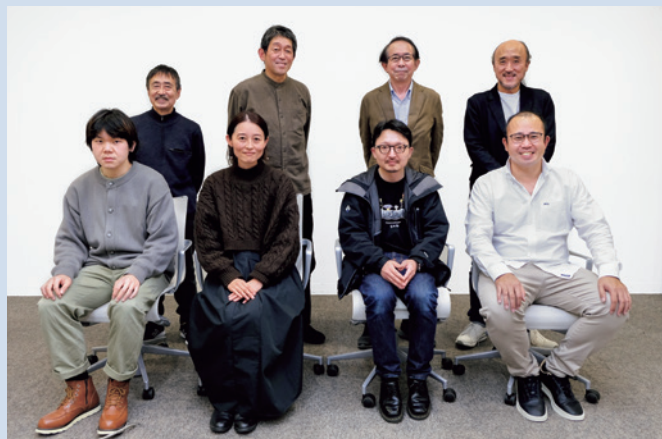
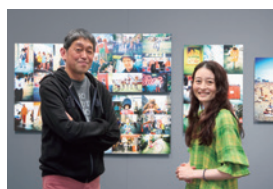


レビューを受けて個展を準備するまでの過程も本当に楽しかった。このときめきを皆さんにお裾分けし、楽しい個展にしたいと思って取り組んだ。

水野景子氏(右)の声

ネイチャーフォトカメラマンとして憧れの存在の高砂先生に見ていただきたい一心で、応募。写真展とはこんなにも膨大な作業と多くの協力の協力によって作られているのかと驚いた。

杉村友弘氏(左)の声



45歳以下の写真家・写真家を志す方から作品を募集し、プロ写真家から作品に対するアドバイスをさせていただき、優秀な作品に写真展開催の機会を提供。定員を大きく上回る応募をいただき、レビュー*24名による事前審査、レビュー、ファイナリストレビューを経て決定したアワード受賞者4名による「原石が輝く」写真展を開催しました。

*2 講評する講師

前列:アワード受賞者 左から、李一鳴氏、水野景子氏、藏澄侑希氏、杉村友弘氏/後列:推薦写真家 左から、広川泰士氏、尾仲浩二氏、大西みつぐ氏、高砂淳二氏

写真展例①

『ミッケ!』にはいろいろ

～ウォルター・ウィック『チャレンジ ミッケ!』の世界～



写真と文章をセットで見ながら、さまざまなものを探すという本来の『ミッケ!』の楽しみ方はもちろん、超特大の銀写真プリントの迫力と表現力によって、まるで実際に『ミッケ!』の世界に飛び込んで旅をするかのような鑑賞体験ができる写真展を開催。お子様連れのご家族や、幼少期に『ミッケ!』を読んだ経験をもつ大勢の若い世代にご来場いただきました。探しものを見つけながら、「写真の奥行き感、空気感、色の深み、豊かな色彩」を思い思いに楽しんでいただく機会となりました。

大きく高画質なプリントで見る
ウォルターさんの作品。

**こだわって作られた作品を
細部まで見ることができて
うれしいです。**

『ミッケ!』にはいろいろ」展より



**小学生の頃から大好きな
絵本の世界に入れたようで
楽しかった。**

また子どもに戻ったように夢中になった。

『ミッケ!』にはいろいろ」展より



**空間演出によって、
写真展が従来の姿と
全く違って見えることに
驚かされました。**

「まったり夜キャンプ」展より



大きな写真で、写真の美しさ、
セットの繊細さを感じることで
できて感動した。

『ミッケ!』にはいろいろ」展より

お客様からいただいた「彩り」の声



**子どもも大人も
みんなキラキラした目で**

見て楽しんでいるのが印象的だった。

『ミッケ!』にはいろいろ」展より

五感で楽しむ写真展は初めてだったけど、
とても素晴らしく大感動しました!

「まったり夜キャンプ」展より



**写真から香りや音が
あふれてくるような感覚が良かった。**

「まったり夜キャンプ」展より

※お寄せいただいた声と
写真の被写体の方は関係ありません。

写真展例②

フジフィルム スクエア 体感型企画写真展

「まったり夜キャンプ」～五感ほどける写真鑑賞～



「リラクゼーション」をテーマとし、会場に森の中でのキャンプをイメージした空間を再現しました。視覚に加え、音や香りを用いて鑑賞者の五感に訴えかけることで、写真の世界を体感していただくという、フジフィルム スクエアの新たな試みが共感を呼び、多くの若者が、ゆったり・まったりと過ごす姿が多くみられる写真展となりました。

「こころ彩るところ」
 フジフィルム スクエアは、
 写真文化を未来へと
 絶えず、守り育み続けます。

富士フィルムは1934年の創業以来、写真フィルム事業で培った幅広い技術を蓄積・進化させ、価値のあるイノベティブな製品・サービスを提供することで、社会の文化、産業の発展、健康増進、環境保持に貢献し、人々の生活の質のさらなる向上に寄与するよう取り組んできました。その中で当社はフジフィルム スクエアが取り組む「写真を通じて人と人の心をつなぐ活動」を、心の豊かさや人々のつながりに貢献する活動と位置づけています。

2022年度もフジフィルム スクエアはたくさんの方にお越しいただき、「初めて写真展に来たが感動した」「写真の迫りに驚いた」「やさしい気持ちになった」など、多くの思いの「こころ彩った」声を頂戴しました。

これからも当社はフジフィルム スクエアでの感動を呼び起こす写真展示や、思い出をカタチにする写真製品の提供などを通じ、写真文化を守り育み続けます。



富士フィルムフォトサロン 東京

写真文化の向上と写真の普及に寄与する、クオリティーの高いさまざまなジャンルの写真を展示する写真ギャラリーです。プロ・アマを問わず写真の魅力、素晴らしさを表現した作品を厳選し、一週間単位で写真展を開催しております。公募についてはウェブサイトをご覧ください。



写真歴史博物館

貴重なアンティークカメラや富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、歴史的に価値のある写真を展示する企画展も定期的に開催しています。写真の文化、カメラの歴史的進化をご覧いただける博物館です。190年を超える写真文化の変遷をぜひお楽しみください。



タッチフジフィルム&イメージングサービスカウンター

「チェキ」をはじめとする大人気INSTAXシリーズや富士フィルムのミラーレスデジタルカメラ「GFX・Xシリーズ」、交換レンズなどの最新製品のお試しや、購入ができます。また、修理受付や購入前のトライアルサービス*も提供いたします。そして、スマートフォンからも簡単にご注文いただけるプリントや、写真を使ったオリジナルギフト「PHOTO GOODS」などを展示し、新しい写真の楽しみ方をご提案しています。

*デジタルカメラや双眼鏡など



ASTALIFT 六本木 フジフィルム ヘルスケアショップ

「アスタリフト」をはじめ、長年の写真分野の研究開発で培った独自の技術を活用した富士フィルムの化粧品・サプリメント・ヘアケア製品を全商品取りそろえています。化粧品やドリンクをお試しいただき、ビューティーコンサルタントのアドバイスを受けることもできます。当店限定のお得なキャンペーンなども実施しています。



FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア

開館時間 10:00~19:00 (入館は18:50まで)

無休(年末年始を除く) / 入館無料

*やむを得ず臨時休館する場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン・ウェスト 1F
 TEL.03-6271-3350(10:00~18:00) <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」東京ミッドタウン行き地下通路で徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分

鑑賞ガイド

右記の二次元コードから写真展がより楽しめる鑑賞ガイドをご覧いただけます。

